

授業概要 (シラバス)

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	GS201	分類	講義科目
授業科目名	国際情勢2(英)	英文授業科目名	Current Affair II
年度	2025年度	年次	昼間部 1年 英語専攻科
開講学期	通年	授業の方法	講義科目
単位数	2単位	年間授業時間数	28.8時間
科目区分	一般教育科目	授業コマ数	24コマ
担当教員名	Christopher Power	実務経験なし	備考
経歴			

■授業・科目情報

学習目標	To be more aware of current affairs. To be more actively curious on social and economic matters. 日常生活、世界で生じている様々な事象を通して国際社会・経済・関係の理解を深める。		
教科書	オンラインテキスト		
授業計画	回数	内容	
	1	国とはどのようなものか	
	2	アイデンティティとは	
	3	世界の人種と民族	
	4	世界の人種と民族	
	5	宗教とはどのような文化か	
	6	宗教 3大宗教の聖地エルサレム	
	7	移民国家アメリカ	
	8	欧州連合	
	9	世界の食糧問題	
	10	持続可能な開発目標 飢餓をなくす	
	11	前期まとめ	
	12	試験	
	13	世界の環境問題	
	14	世界のエネルギー問題	
	15	SDGsとは	
	16	異文化理解	
	17	難民問題	
	18	民族問題、民族摩擦	
	19	社会の在り方 LGBTQ	
	20	海外の労働者問題	
	21	国際結婚	
	22	ネット社会 SNS、ネット	
	23	ヘイトスピーチ	
	24	まとめ/試験	
授業の進め方	オンライン教材をもとに、世界で何が起きているのか観て聴いて、発言することで積極的に考える、発言する個人&グループワークを取り入れる。		
試験の実施方法	前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点 = 50% (10ポイント) ②出席率 = 50% (10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後学期年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目	国際情勢 I、異文化コミュニケーション		
参考書			
学生へのメッセージ	What are the benefits of being aware of current affairs, politics, and other related topics for the general public? What are the most common challenges and issues that people are currently grappling with in today's world? 環境問題・国際関係、文化の相違等違う視点を養う機会にしたい。		